



デジタル・トランスフォーメーション (DX) 戦略

GRI 203-2

日油がDXを通して目指すのは、全従業員が高いモチベーションをもって創造的業務に取り組み、お客さまや社会のニーズを先取りした高品質な製品・サービスを迅速に提供する企業であり続けることです。そのために、デジタルデータ・技術を活用し、新製品・新技術の開発力強化と生産性の向上を図ります。DX戦略のテーマに「DX人材の育成と、デジタル化による業務改善／効率化の推進」を掲げ、次の3つの重点実施項目を設定しました。①DX人材の計画的な育成と確保 ②DXの本格化に向けた統制機能の整備 ③データ利活用環境の整備 です。これらを実施することで、お客さまや社会には「マーケティングの高度化」「研究開発力の強化」「生産性・品質の向上」を、従業員には「業務の自動化・効率化」「ワークスタイルの変革」などの価値を提供します。

DX戦略

DX人材の育成と、デジタル化による業務改善／効率化の推進

重点実施項目



① DX人材の計画的な育成と確保

- ① 部門・箇所でのDX推進を担う人材の育成
- ② DXリテラシーの向上



② DXの本格化に向けた統制機能の整備

- ① アプリ開発、データ利活用に関わる統制の整備



③ データ利活用環境の整備

- ① 基幹系システム (ERP) データの利活用の推進
- ② 領域別データ利活用環境の整備



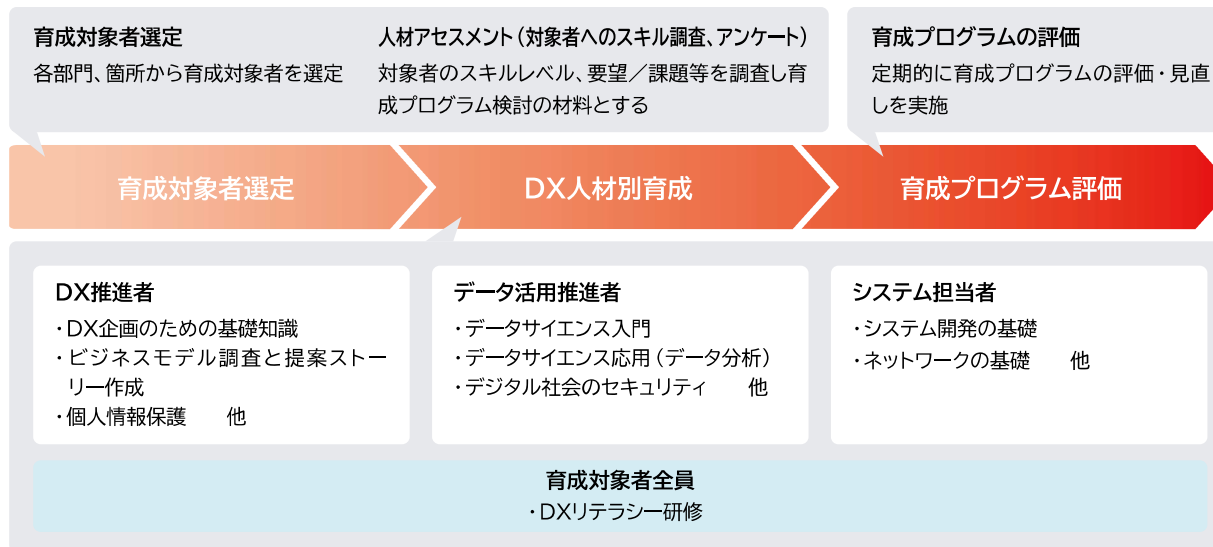
デジタル・トランスフォーメーション (DX) 戦略

GRI 203-2

「DX人材」育成プログラム

各部門・箇所から選定された育成対象者が、人材タイプ別に専門スキル・知識などを習得します。標準プログラムのほかに、対象者へのアンケート結果をふまえた個別研修も実施しています。なお、2023年度の受講者数は75名でした。

「DX人材」育成プログラムの概要



データ利活用環境の将来像

データ利活用によるイノベーションや生産性の向上を実現するため、データ利活用環境を整備します。また、インフラ整備だけでなく、ルールや組織といったデータマネジメント体制の整備も視野に入れています。環境や体制を整え、製造プロセスの最適化、不良率の改善、在庫の最適化、生産計画の自動化、省エネルギー化、R&D業務の効率化、知財活用の推進、予防保全の強化、労働安全衛生の推進、スキルの可視化、ノウハウの継承などを推進します。

データ活用環境の将来像

